



知っておこう！

糖尿病の薬

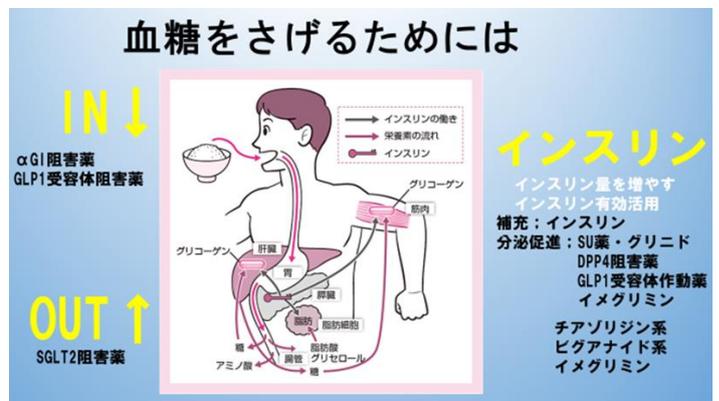
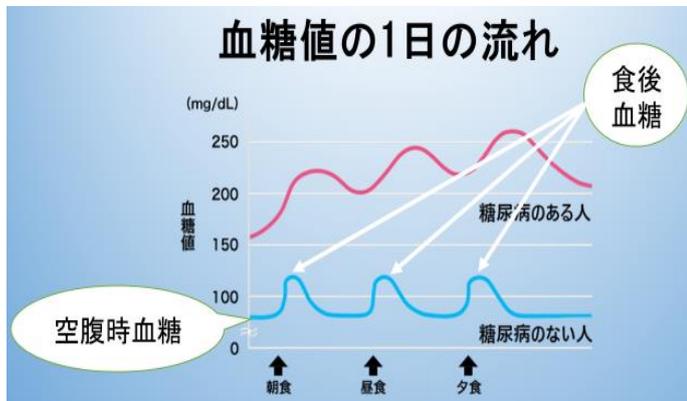


産業医 田名 毅
首里城下町クリニック

産業医だよりでは、毎月私のクリニックで行っている 地域むけ医療講演会 YouTube 配信の内容を要約してお伝えしています。今月の地域むけ医療講演会 YouTube 配信は、当院糖尿病専門の福地万里医師をお招きし、「知っておこう！糖尿病の薬」というタイトルでご講演いただきました。糖尿病の薬は日進月歩の勢いで新薬が開発されています。今回はたくさんある薬剤を作用別に整理してわかりやすくお話いただきました。以下にその要約を紹介致します。

血糖値は通常空腹では低く、食後に上昇することが分かっていますが、正常の場合はインスリンなどの働きで血糖値は70-140mg/dlの範囲で維持されています。インスリンが有効に使われない状態になると血糖値が上昇してしまいます。糖尿病の治療の基本は、食事、運動、薬(薬物療法)ですが今日は薬物療法について話します。

血糖値を下げるためには、①IN(吸収)を減らす ②OUT(排出)を増やす ③インスリンを有効に使う、大きく分けるとこの三つの作用点があります。



1. まずINを減らす薬です

- (1) α-グルコシダーゼ阻害薬 …腸管からの糖の吸収を抑える薬です。
- (2) GLP1受容体作動薬…これまで注射薬しかありませんでしたが、最近は飲み薬もあり食欲を落とす効果があります。

(1) α-グルコシダーゼ阻害薬 (α-GI薬)

炭水化物の吸収遅延・食後血糖の改善

- 基本1日3回食直前の内服 (食前にのまないと効果ない！)
- おなら、下痢、便秘の消化器症状がでることあり
- 低血糖を起したらブドウ糖をとる必要がある
- 糖尿病予防薬として使用できるものがある

(2) GLP1受容体作動薬

脳や胃腸に働き食欲を抑えてくれる

2. 次にOUTを増やす薬です

(3)SGLT2阻害薬・・・尿から糖を排出する薬です。

心臓、腎臓病にも有効とされ使用頻度が増えています。

3. さいごに糖を下げる唯一のホルモン

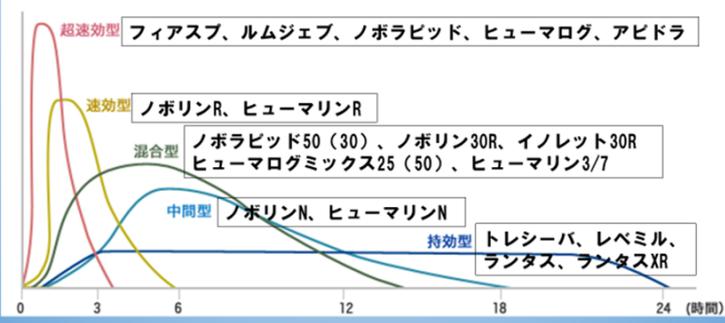
インスリンに関わる薬です

(4)インスリン製剤・・・注射薬です。外から補充する方法です。

(5)SU剤・・・低血糖に注意が必要です。

(4) インスリン製剤

■インスリン製剤の種類と作用時間(作用イメージ)

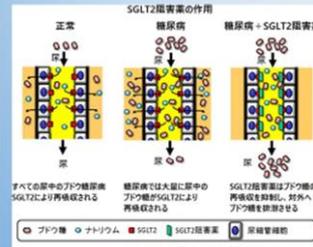


(6)グリニド薬・・・毎食前にのんで、食後血糖を下げる薬です。

(7)DPP-4阻害薬・・・1日1回、週1回など様々な飲み方の薬があります。副作用が少なく、日本で一番よく使われています。

(8)イメグリミン・・・最も新しい薬です。

(3) SGLT2阻害薬



- ・1日1回（朝が基本）
- ・尿量が増える→脱水にきをつける
- ・心臓、腎臓に効果あり
- ・体重が減る
- ・尿路感染に注意
- ・重度腎障害、透析患者さんに不適

糖を尿から出す
(尿検査：尿糖陽性になる！)

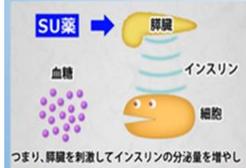
(5) SU薬

効果と特徴

- ・膵臓に働いてインスリンを増やす
- ・古い薬で値段が安い

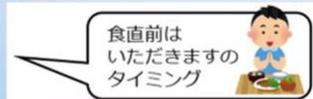
注意点

- ・食事に関係なくインスリンを出すので低血糖になりやすい
(必ず食後！食事がとれないときは注意)
- ・腎機能が悪い方や高齢の方は低血糖になりやすい
- ・体重が増える
- ・長期に多量に飲むと膵臓からインスリンを出す力が弱まる



(6) グリニド薬

即効性インスリン分泌促進薬



効果と特徴

- ・膵臓に働いてインスリンを増やす（食後）
- ・SU薬より速く効き、効果が短い

注意点

- ・食直前に飲む
- ・3食飲むのが基本

(7) DPP-4阻害薬

効果と特徴

- ・消化管ホルモンを助けて膵臓からのインスリンを増やす
- ・主に食後血糖を改善する
- ・低血糖になりにくい
- ・体重が増えない
- ・1日1-2回、週1回のもの、配合薬など種類が豊富
- ・副作用が少ない
- ・日本で最も使われている薬

(8) イメグリミン

主な働き

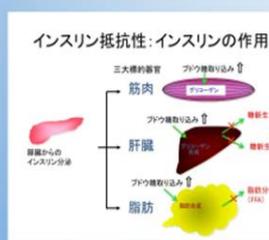
- 膵臓：インスリン分泌を増やす
- 骨格筋：糖を取り込む
- 肝臓：糖を作るのを抑える、糖を取り込む
- 脂肪肝を抑える
- インスリン分泌にもインスリン抵抗性にも効果がある
- 低血糖になりにくい
- 体重を変えない
- 新しい薬
- 副作用は消化器症状（腹部不快感や下痢）

(9)チアゾリン・・・体重増加、むくむことがあります。

(10)ビグアナイド・・・昔からある薬です。

肥満の方にいいとされ沖縄でよく使われています。

(9) チアゾリン薬



効果と特徴

- ・筋肉・脂肪組織に働きインスリン抵抗性を改善してくれる
- ・脂肪肝を改善する
- ・低血糖を起こしにくい

注意点

- ・体重が増える（→減塩が必要！）
- ・水分貯留で心不全悪化

(10) ビグアナイド薬

効果と特徴

- ・昔からあり使われるくすり（値段も安い）
- ・肝臓での糖新生を抑える
- ・筋肉・脂肪組織に働きインスリン抵抗性を改善してくれる
- ・小腸に働き糖の吸収を抑えてくれる
- ・腹部症状（腹部不快感や下痢）でることあり
- ・体重に影響しにくい

注意点

- ・脱水のとき使いにくい薬（血糖が高すぎる時、多量飲酒時、汗をたくさんかくとき、胃腸炎などのシックデイはのまない）
- ・腎臓・心臓・肝臓の悪い方、高齢の方には気をつけて使う
- ・造影剤使用のときに休薬の必要あり

このように糖尿病薬はどんどん進化しています。症状やライフスタイルによって薬の選択枝は様々です。ご本人にあった治療について主治医とご相談下さい。



第 226 回首里城下町クリニック地域むけ医療講演会

テーマ：『知っておきたい在宅医療
～医療を適切に受けるために～』

YouTube 配信



日時：令和5年4月12日（水）午後7時～配信

講師：西崎病院 在宅医療専門医 新屋 洋平 先生

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅

あなたの **相談窓口** です！

相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

- ★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。
- ★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。
事前にお電話の上、いらしてください。
- ★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。
- ★その他、電話やメール相談も随時行っています。



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー CDA
認定産業看護師
公認心理士 田名彩子



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー CDA
與儀雅代



連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000

携帯 080-4312-9200(田名彩子)
メール sien@sjc.dr-clinic.jp(働く人健康支援室)

プライバシーは守ります。
お気軽にご利用下さい！